

年次報告書

目次

- About：ホームスタートとは 2
- Action：活動実績 3
- Voice：利用者・ボランティアの声 4
- Pick Up：1年間の取り組み 5
- Financial Report：寄付・会計報告 6
- Media/Message：メディア掲載/代表挨拶 7
- Support：ご支援のお願い 8

2023

すべての子どもに幸せな 人生のスタートを

ホームスタート・ジャパンは
「孤育て」を防ぐ活動を行っています



🍵 ホームスタートとは

01

誰でも無料で気軽に利用できます

研修を受けた地元のボランティアが、先輩ママとして1回2時間、家庭を訪問するのがホームスタート。利用に条件はありません。

「地元で相談できる人がいない」「子育てが不安」「孤独感がある」「双子や年子で手が回らない」など、まずは気軽に問い合わせてみてください！



02

ママの「初めて」に寄り添います

少子化が進んだため、赤ちゃんに触れた経験がまったくないまま、出産を迎える人が珍しくありません。たとえ育児について出産前に一生懸命調べていても、いざ産まれると「こんなはずじゃなかった！」となるのが普通です。

ママ（パパ）の悩みごとに耳を傾け、一緒に家事や育児をして、今どきの子育てをサポートします。



03

地域でつながる入口、「孤育て」を防ぎます

小さい子どもの世話を追われると、外出するのも大変ですよね。地元のことをよく知っているボランティアと一緒に買い物に行ったり、病院に付き添ったり、公園や子育てひろばに一緒に行くこともできます。必要に応じて専門機関に紹介するなど、結果的に虐待予防にもつながります。



04

イギリスで50年、日本で15年の安心

ホームスタートはイギリス発祥。充実した研修やトラブル対応のためのルールなど、安心・安全な訪問のための仕組みがあります。それによって、ママ・パパが孤立し、負担が集中してしまいがちな子育てではなく、地域のさまざまな立場の人が子育てに関わることができるまちづくりに貢献する活動です。



2023年度の利用家庭数は過去最高に 9割の家庭で悩みが軽減

全国で普及している 地域数

32都道府県

120 地域



2009年に13地域で始まったホームスタート。年々、活動地域を広げ、2023年度は岡山県岡山市、愛知県の半田市と蒲郡市、東京都大田区で新しく活動が始まりました。ホームスタート・ジャパンは各地域の団体運営をサポートし、新しい地域での活動立上げを積極的に進めています。

年間の利用家庭数

2,867 家庭



コロナ禍で利用家庭は大きく減少しましたが、2023年度はコロナ前の水準を上回り、過去最高に。コロナ禍で以前よりママ友を作ることも難しくなったと言われる今、ホームスタートの必要性をさらに感じています。



※2023年4月以降の新規利用2,046家庭に、前年度から年度末をまたいだ利用も含め、2,867家庭に訪問



利用家庭のうち、0歳児のいる家庭が60%

ホームスタートでは妊婦や乳幼児がいる家庭を訪問します。中でも多いのが、初めての子どもが生まれて戸惑うことも多い母親、そして2人目の赤ちゃんと幼い兄弟の世話で手が回らなくなっている母親のサポートです。最近では、父親のサポートも増えています。



訪問実績



15年間で16,000家庭に

116,000回

自宅を訪問してもらうことに不安を感じる利用者は少なくありません。また、訪問するボランティアが心配になることもあります。その中で、ボランティアに充実した研修を用意し、いつでも相談できるコーディネーターがいる、安心・安全な仕組みがあるからこそ、訪問実績を積み重ねることができると考えています。

「孤立感の解消」
充足度

95 %

「子どもの成長・発達
を促す機会を作る」

90 %

「親自身の
心の安定」

92 %



ホームスタートでは、訪問が始まる前に利用者のニーズ、訪問終了後に充足度を聞き、訪問の効果を実証するデータを蓄積しています。毎年、9割の家庭で悩みが軽減されています。

「何か子育てで困った時に地域に頼れる人ができた」

利用家庭からの声

誰でも使えるホームスタートですが、利用するきっかけは、「転勤などで引っ越し、近所に頼れる人がいない」「育児に不安感や疲労感を抱える」「双子や年子の世話で手が足りない」といった理由が多い。



一緒に見守ってくれる人がいるだけでとても心強く感じました

Mさん

その頃、私自身は座っているだけでも息苦しく感じる状態でした。子どもたちは男の子の双子だし、3歳になるとすごく活発になってきて、柵がある公園でも「見えないうちに走って行ってしまったらどうしよう」という不安が大きかったので、一緒に見守ってくれる人がいるだけでとても心強く感じました。道中の車の中や合間にいろいろ話もできました。妊娠後期は自分自身が外で動くことも心配で不安が大きかったため、精神的に安心することができました。



ひとまわり成長できたように感じます

Aさん

お家が散らかっていたり、夫婦でギクシャクして、陰険ムードでしたが、散らかってるお家でも大丈夫だよ、と優しくサポートして下さり、また私の悩みだけでなく夫の話もたくさん聞いてくださり家族全員が笑顔になれる日が増えました。ホームスタートに出会えて、サポートしていただいて本当に助かりましたし、私自身『人として、母として、妻として』苦しい状況から抜け出して、ひとまわり成長できたように感じます。今は自分と家族のことで手がいっぱいですがいつかは恩返しできるといいなと思っています。



前向きに楽しんで子育てしていくことを後押ししてくれる

横山さん

コロナ禍での初めての子育てだったので、ネットの情報に頼りながら、「これで子育ていいのかな、子ども目線で良い育児ができていいるのかな」と、ずっとモヤモヤしながらの子育てでした。何が本当に良かったかという、「何か子育てで困った時に地域に頼れる人ができた」ということだと思います。まわりの子育てをしている友人を見渡しても、いまの子育ては本当にキツイと感じています。ホームスタートは、そんな子育てに奮闘する親と子どもを元気にし、前向きに楽しんで子育てしていくことを後押ししてくれる素晴らしいサービスだと感じています。

訪問ボランティアからの声

訪問ボランティア（ホームビジター）は全国に3,700人。50代、60代の子育てを終えた世代の方が多い。参加理由は「自分も苦労した子育ての経験を活かしたい」など。



それだけでもママたちは笑顔になれる

Tさん

自分自身も仕事をしているので、訪問家庭と日程を調整しながら訪問することは、時として大変なこともあります。それでも私が続けている理由は、子どもさんの笑顔とママからの「ありがとう」「助かった」という言葉をいただけるからです。私たちにできることは、ちょっとした手助けと寄り添うことだけです。でも、それだけでもママたちは笑顔になれるということを訪問の中で感じています。



傾聴してもらった人も幸せになれる、win-winな素晴らしい活動

田畑由加子さん

何か、すごい資格が必要なわけではなく、傾聴してくれる人がいるだけでも救われる、と感じるくらい子育てが孤育てになって、自信喪失しているお母さんがたくさんいます。自分もそうでした。誰かの役に立てる、という経験は自信にも繋がって、傾聴してもらった人も幸せになれる、win-winな素晴らしい活動です。



利用者さんとボランティアさんの声を伝えるホームページはこちら

check!



2023年度は、東京都から特別賞を受賞、 セミナー開催や広報活動強化に取り組みました



2023.06 3年間で3,000万円の資金 提供と経営支援が決定

一般財団法人社会変革推進財団と、一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズの両団体が共同で運営する「日本ベンチャー・フィランソロピー基金」を通じて、3年間で3,000万円の資金提供と経営支援を受けることが決まりました。



2023.11 オレンジウォークに参加 しました！

歩くことで児童虐待防止に取り組む団体に寄付を届けるキャンペーン「ORANGE WALK 2023」。2,869人が参加、合計で5億3,825万3,345歩を歩いていただきました。この取り組みから451,592円のご寄付をいただきました。



2023.12 ホームページをリニューアル、 LINE公式を開始

活動をよりわかりやすく伝えるため、ホームページを全面的に刷新しました。あわせてLINE公式での情報発信を始め、LINE登録は3月末までに250人超に増えました。



2023.07 『こども家庭庁とともに、 訪問支援のあり方を考える』 セミナー開催

4月に発足したこども家庭庁から担当部局の課長をお迎えし、こども子育て支援のさまざまな制度について学びイベントを開催しました。



2023.11 東京都「こどもスマイル ムーブメント大賞」特別賞を 受賞

11月28日、東京都庁で「こどもスマイルムーブメント大賞」の表彰式が行われ、特別賞を受賞したNPO法人ホームスタート・ジャパンから、山田幸恵理事兼事務局長などが参加しました。



2024.1 能登半島地震の支援募金の 呼びかけを開始

能登半島地震で被災された親子の支援のため、ホームスタート・ジャパンでは1月3日から緊急募金を始め、石川県加賀市と白山市でホームスタートの活動を行っている2団体を通じた支援を継続しています。

寄付実績

ホームスタート・ジャパンへの寄付

認定NPO法人になるための寄付のお願いを2023年12月に始め、3月末までに新しく297人と12団体から1,700,340円のご寄付をいただきました。子ども虐待防止キャンペーン「オレンジウオーク」参加や企業からの寄付などを含め、年間で約420万円になりました。

 **4,206,423 円**

能登半島地震への支援募金

2024年1月3日から支援のお願いを始め、3月末までに434件、300万円超のご寄付をいただきました。学校法人蓮光学園パドマ幼稚園様、CIC Japan合同会社様、株式会社ソラスト様は専用サイトを設けてご支援いただきました。

 **3,094,026 円**

活動計算書（令和5年度）

科目	金額	小計・合計
【A】経常収益		
1. 受取会費		3,560,000
正会員受取会費－個人	110,000	
正会員受取会費－団体	3,450,000	
2. 受取寄附金		7,164,529
受取寄附金－一般寄付金	4,206,423	
受取寄附金－使途指定寄付金	2,958,106	
3. 受取助成金等		13,266,788
受取民間助成金*1	11,452,888	
事業受託収益－愛知県業務受託料	1,813,900	
4. 事業収益		3,393,899
ホームスタートに関する情報提供事業収益	737,899	
地域スキームの設立および運営支援事業収益	2,656,000	
5. その他の収益		190
雑収益	190	
経常収益計		27,385,406

*1 日本ベンチャーフィランソロピー基金、中小企業基盤整備機構より

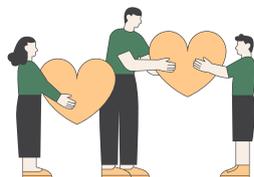
科目	金額	小計・合計
【B】経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		4,324,030
役員報酬	2,766,000	
雑給	1,558,030	
(2) その他経費		18,127,947
講師謝金	794,580	
諸謝金	784,990	
旅費交通費	2,638,711	
会議費	262,491	
交際費	5,000	
通信運搬費	530,937	
消耗品費	1,874,922	
研修費	2,000	
会場借料	706,955	
印刷製本費	644,985	
水道光熱費	31,180	
支払地代家賃	557,612	
諸会費	216,350	
委託費	6,087,565	
支払手数料	494,656	
補助金	119,000	
支払寄付金	2,294,710	
雑費	81,303	
事業費計		22,451,977
2. 管理費		
(1) 人件費		1,908,457
役員報酬	1,024,000	
雑給	411,681	
法定福利費	472,776	
(2) その他経費		1,976,905
旅費交通費	633,865	
会議費	17,890	
交際費	32,000	
通信運搬費	19,052	
消耗品費	377,285	
修繕費	107,617	
会場借料	84,100	
印刷製本費	35,854	
水道光熱費	31,178	
支払地代家賃	470,548	
保険料	23,201	
委託費	48,000	
支払手数料	92,565	
租税公課	3,750	
管理費計		3,885,362
経常費用計		26,337,339
当期経常増減額【A】－【B】…①		1,048,067
税引前当期正味財産増減額①＋②…③		1,048,067
法人税、住民税及び事業税…④		0
前期繰越正味財産額…⑤		10,783,483
次期繰越正味財産額③－④＋⑤		11,831,550

総括

2023年度は、大型助成をいただいて事務局スタッフの増員やファンドレイザーの業務委託、事務所の開設、ホームページのリニューアルなどの体制・基盤強化を進めました。また、地域団体（スキーム）の支援や新規立ち上げのために積極的に動いたことから、前年に比べて交通費なども増加しています。その結果、収入が2,739万円、支出が2,634万円、105万円の繰越となりました。

今後、助成期間が終了した後も活動を広げていける基盤を確立するため、**広報やファンドレイズの強化に一層の努力が必要**になると考えています。

能登半島地震への支援募金は、4月以降も継続しています。これまでのご支援に心から御礼申し上げますとともに、今後ともご支援のほど、よろしくお願い致します。

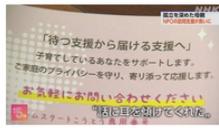


🌸 主なメディア掲載



2023.7.25
読売新聞

「先輩ママ、家訪れ悩み傾聴」



2023.10.25放送
NHKニュース

「児童虐待過去最多」関連で、予防的支援として紹介



2024.3.1放送
テレビ朝日

番組「東京サイト」で、東京都「こどもスマイルムーブメント大賞特別賞」紹介



2024.3.26発売号
雑誌AERA

予防的支援で注目される「ホームスタート」



2024.3.28
毎日新聞

夕刊コラムで「コロナで育児に変化が…」と紹介



東京都が紹介
動画を制作、
YouTubeで公開中

動画はこちら



🌸 代表挨拶

今こそ、地域に支えあう人の
つながりを、そして、子どもの
人生の幸せなスタートを

特定非営利活動法人
ホームスタート・ジャパン代表理事
森田圭子



子どもの出生数は80万人を割りました。想定よりも早く少子化が進んでいるそうです。では、少ない子ども子育て家庭は社会で大事にされているのでしょうか。8割近くの子育て中の親が疎外感孤立感を抱えていると報告されています。そして、共働きも増え多忙を極める親たちに、情報の収集や選択、その負担や責任が集中しています。

育児休業中、頼れる人もなく子育て仲間もないままワンオペで頑張っている母親、産後うつの妻を心配する夫からの申込、父親の育休が明けワンオペがスタートする不安、父親自身の利用などホームスタートの現場から今の社会の現実が見えてきます。昨年度、全国で2,800を越える家庭の利用がありました。誰かに一緒にいてほしいという申込みを受け、

その家族に寄り添う子育ての先輩ボランティアが全国に3,700名。なかには能登地震で被災された家族をサポートされた方もおられます。今こそ、地域に支えあう人のつながりを、そして、子どもの人生の幸せなスタートを。ホームスタートをもっと多くの地域に広げるために前に進んで参りたいと思います。

私たちと一緒に、子育てを支える ホームスタートを全国に届けませんか



現在、約120地域で活動していますが、「あの時知っていたら・・・」「自分の地域でも使えたら・・・」という声を多く聞きます。より多くの方に知ってもらうため、より多くの地域に活動を広げるため、みなさまからのご支援が必要です。

寄付で応援する

ホームスタートを全国のご家庭に知ってもらう、まだホームスタートがない地域での導入を促進する、地域団体の運営をサポートし、利用家庭を増やすためには活動資金が必要です。ぜひご支援よろしく願いいたします。

※遺贈によるご寄付も承っております

詳細はこちら 



その他の支援方法

SNSで「#ホームスタート」のハッシュタグを入れた投稿や、SNSのフォロー・シェアもどこかで困っている方がホームスタートを知るきっかけになります。ぜひ様々な形でのご支援、よろしくお願いいたします！

寄付者の声



Mさん

ホームスタートでは、ビジターと親子が対等の関係であるからこそ、本音で話すことができます。そのために、この活動は無償で提供してこそ、価値あるものになります。少しでもすき間を埋めることができますように。



(匿名希望)

2021年にビジター登録しました。以来、地元のご家庭を複数担当させていただき、楽しく貴重な経験をさせていただいております。地域の方々、身近な方々へ、だれもが躊躇なく相談したり応援を求めたりできる社会であってほしいと願います。そのモデルのようなホームスタートの活動がもっと広がりますようお願いしつつ、これからもがんばります。

あなたの応援が活動を
支えます。ぜひLINE
登録やSNSシェアして
くださいね！



特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン

〒169-0072

東京都新宿区大久保3-10-1-B棟2F

TEL 03-5287-5771

E-mail info@homestartjapan.org



<https://www.homestartjapan.org>

ホームスタート・ジャパン 

公式サイト
はこちら

